



令和5年8月28日

NPO 法人そばネットジャパン
団体正会員・個人正会員 各位

NPO 法人そばネットジャパン
代表理事 阿部 成 男

世界陸上2023やり投げ金メダルを支えたそば学検定委員足立和隆氏

ハンガリーで国際陸上が開催され、日本の選手も活躍しており、11種目の入賞は史上初の成績だそうです。

ただ、メダルとなると、やり投げまでは競歩の銅メダルだけでしたので、女子やり投げの北口榛花が唯一の金メダル獲得したことは大きなニュースとなりました。

そして、その金メダルにはジャパンそば学検定委員の足立和隆氏が指導した解剖学が大きな支えになったと昨日(27日)の朝日新聞に掲載されています。(別添記事コピー)

2012年7月に開催された第8回全麵協そば大学講座つくば学舎で筑波大学准教授(当時)足立和隆氏の「そば打ちの解剖学」という講義がありました。

私が東日本支部長であったことで足立氏にご挨拶をして講義を聴いて、そば打ちには体の仕組みを最大限活用する解剖学が大きな役割を果たすことを知り、以降、その時の講義資料を抜粋したそば打ち指導者のためのテキストを作成して配布していたものです。

したがって、そばネット埼玉からそばネットジャパン移行後、そば学検定科目に「そば打ちの身体学」を入れ、足立氏に検定委員をお願いしたのは必然ということになります。

足立氏がスポーツ科学の分野で有名な選手を指導していたことは伺っていましたが、この度のやり投げの金メダルに大きな貢献をされたことは、そば学検定の「そば打ちの身体学」を多くのそばリストが学び、活用することになると期待されるものです。

北口選手の金メダルを心から祝福し、その金メダルを支えてきた足立和隆氏がそばネットジャパンそば学検定「そば打ちの身体学」の検定委員であることを誇りに思うものです。

「そばリスト」とは、そばをこよなく愛し、そば打ちやそばの知識を学ぶ人を、「そばに関するスペシャリスト」の愛称として「そばリスト」を商標登録しています。

